

うた ひつじの詩だより

2010.3.1
毎月発行 No.108
この更にはお友達の品と
いっしょにお届けします



佐々木奈々子のワークショップ ウォルドルフ人形と羊毛の手仕事 「北欧の夏至祭の風景」

4月22日、5月6日、6月24日の3回(いずれも木曜日、13:00~15:00)、朝日カルチャーセンター新宿にて行われます。

夏至祭の子どもたちは「心を育む人形たち」に作り方が載っていますが、今回のワークショップでは特別に夏至祭らしい子どもの花の髪飾りや、マイストング(メイポール)も作るとのこと。すべての自

然が輝くばかりの美しさにあふれる長い長い北欧の夏至の一日に思いを馳せて、手仕事を楽しみましょう。どうぞふるってご参加ください。

受講料は一般 11,340 円です。お申し込み、お問い合わせは朝日カルチャーセンター新宿までお願いいたします。(Tel: 03-3344-5450)

2月、3月のワークショップ「イースターエッグのお人形」も、とっても素敵!



「ウォルドルフ人形の四季」

-2009、スウェーデン大使館作品展より-

3月10日(水)~14日(日) 百町森 静岡市葵区鷹匠 1-14-12 Tel:054-251-8700

3月19日(金)~23日(火) アトリエリネア 杉並区西荻北 5-11-7 Tel:03-6761-8182

★アトリエリネアの日程は上記のとおり変更になりました。3月20日(土)14:00~16:00 浦田温子氏のお話会「スウェーデンの生活と手仕事」を開催します。

4月21日(水)~26日(月) カルテット 刈谷市高倉町 2-508 Tel:0566-28-3933

その他の作品展

3月6日(土)~7日(日) 橋本公民館まつり 10:00~16:30

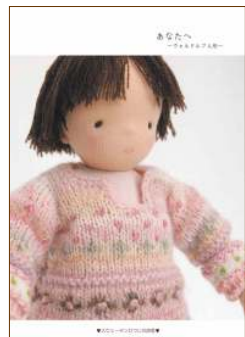
橋本公民館 ソレイユさがみ 相模原市 橋本サティ6F 担当:宮崎智子

4月1日(木)~11日(日) ERK(エルク)のウォルドルフ人形教室作品展

本荘グランドホテル1F ブテック ルルブルー 由利本荘市岩渕下 254 担当:生守恵利子

4月21日(水)~25日(日) スペース遊「春の宴」展 11:00~17:00(最終日 16:00)

ギャラリースペース遊 相模原市千代田 2-2-15 メイプルビル2F 担当:宮崎智子



「あなたへ」刊行のお知らせ

昨年行われたスウェーデン大使館での作品展を記念して、全国のウォルドルフ人形の伝え手たちの作品を冊子にまとめました。

会場では写真を撮影していただけなかったため、改めて作品展を思い出すよすがとなり、いい記念になると好評です。またご自身のウォルドルフ人形のために着るものや持ちものを作る際に、どんなものが似合うかしらとページをくっていただくと、いろいろ参考にしたいと思えます。

(A5サイズ/28ページ、定価 800 円・税別)

連載 シュタイナー学園の『手の仕事』 — その3

手の仕事専科教師 友岡礼子

三年生にもなると、入学の頃と比べて、身体のフォームが少し締まってきます。そして、その内側では色々なことが起こっていて、それが外へ現れます。今までやっていたことをやらなくなったり、周りと衝突したり、大した理由もなくしくしく泣いたり個人差はありますが、穏やかでない様子が窺えます。シュタイナー教育ではこの時期の様子を、「九歳の危機」とか「ルピコン」と呼びます。文字通り九歳の頃に見られる不安定な様子で、まさしくユリウス・カエサルのルピコン川での決断の如く、一度渡れば後戻りはできない新しい社会へ向う決心の時期なのです。これに伴ってこの教育のカリキュラムでは、自分の内側を落ち着か



せるために、エポック授業においては家作りを学び、またここでとり上げる手仕事では帽子を編みます。

帽子づくりの授業では、色の変化に秩序をもたせるようにしています。顔の周りの開いた色から、頭のてっぺんの閉じた色へ向かう表現は、徐々に色が混ざっていくにじみ絵のように、かぎ針を用いて1目ずつ丁寧に編んでいきます。色を替える一段目は3目に1目新しい色を入れ、三段になると2目ずつにし、五段めでは元の色が1目、新しい色が3目になり、七段め

で全て新しい色になるようにします。少し複雑に感じられがちですが、この時期の子どもたちには、テンポよく数を刻むことが向いています。

ルピコンを越えた、あるいはその途上の四年生の子どもたちには、クロスステッチの仕事が待っています。糸が交差することは、子どもたちが地上に立ち、人と出会うことにも似ています。しっかりと針を運ばなければ、裏へ隠れた糸が表へ出てきたとき、それは正確に交差しません。「左足、右手、左手、右足」と身体を通して練習した動作に合わせ、子どもたちは言葉を心に刻みながら、刺繍をしていきます。この仕事に入ると、男の子も女の子も職人さんのように、活き活きと仕事をします。手の仕事のための袋となるこの刺繍は、上下、左右、明暗、伸縮、開閉等の感覚を意識して作っており、「袋」の形状や使用の目的にあったデザインになっています。



(写真:3年 帽子、4年 クロスステッチ)

スウェーデンひつじの詩舎からのお知らせ

「ウォルドルフ人形の本」30ページのニットの編み図に訂正があります。図の△部分の増し目回数は5回ではなくて10回です。この結果を反映して、途中と最後の目数が5目ずつ増えます。ご希望の方には正誤表をお送りいたしますので、お手数ですがスウェーデンひつじの詩舎へご連絡ください。ご迷惑をおかけしましたことを、心からお詫びいたします。

担当 佐藤治子

スウェーデンひつじの詩舎のホームページ

<http://www.s-hitsuji.co.jp/>

♥スウェーデンひつじの詩舎♥

スペース ペレのあたらしいふく

〒244-0001 横浜市戸塚区鳥が丘 15-2

TEL&FAX 045-881-6900,6665

佐々木のアトリエ TEL&FAX 045-811-6708

相談窓口(金)担当:寺田裕子 045-881-7035